

主  
題

国際会長 私たちは変えられる

"Yes we can change"

アジア会長 アクション

"Action"

西日本区理事 未来に残すべきものを守り育てる

"Let's protect and cultivate what should be passed on to the Future"

京都部部長 永遠の絆

"Will the circle be unbroken"

聖  
句

これらのことを話したのは、あなたがたがわたしによって平和を得るためである。あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている。

ヨハネによる福音書 16章33節



## 「どんな雲にも銀色の裏張りがついている」

西中国部部長 谷本 秀康 (東広島)

6月28日から7月8日にかけて中国地方で降り続いた豪雨は、広島県と岡山県を中心に甚大な被害を及ぼし7月25日午後8時現在、広島県では112名、岡山県では61名の尊い命が失われ、広島県で7名、岡山県で3名の方が未だに行方不明となっています。被害は、広範囲に及び、被災者や救援ボランティアの方々は、40度に迫る猛暑の中で熱中症を心配しながら今日も復旧作業に汗を流しています。

当初、部長主題に「言葉より、行動を！ワイズスピリットを行動に！」“Deeds, not words! Let's act out the Y's spirit!”を掲げ、活動方針を①例会を充実し、会員増強に繋げる。②YMCAとの協働関係強化。③部内クラブ間の交流促進。④IBC、DBCとの交流促進。⑤地域に根ざした奉仕活動の実施。としていましたが、西日本豪雨復興支援を今年度の地域奉仕活動の最優先課題にしたいと思います。

部長を務めるのは、2002-2003年度(初代部長)、2011-2012年度(第10代部長)に続き、今回が三度目となります。初代部長を務めた年度は、旧西部(19クラブ)が六甲部(8クラブ)、瀬戸山陰部(6クラブ)、西中国部(5クラブ)に三分割され、西中国部が西日本区最小の部として新たな歩みを始めた年でした。その後、広島西クラブと岩国みなみクラブがチャーターされましたが、広島西クラブの解散に続き、昨年度末に岩国クラブが突然解散して今期期首の会員数は、前年度期首の83名から19名減の64名となり、西日本豪雨で被災した会員は、いなかったものの前途多難な門出となりました。ただ、解散した岩国クラブから7月4日付けで8名が岩国みなみクラブに再入会したので、実質的には72名からの再出発となります。

人生には予期せぬ出来事が付き物ですが、岩国クラブの解散も西日本豪雨もまさに想定外の出来事でした。なぜ私が部長を務める年度にこのような不幸が立て続けに起きるのでしょうか。それは、人知の及ぶところではないのでしょうか。部長としては、真っ向から現実を受け止め、困難を一つ一つ乗り越えて、プラス思考で粛々と活動計画を実行に移していくしかありません。イギリスにはEvery cloud has a silver lining.「どんな雲にも銀色の裏張りがついている」という諺があります。これは、「どんな不幸や災難もその反面に希望に輝く部分を持っているのだから絶望してはいけない」という意味の諺ですが、これを部長としての座右の銘としたいと思います。

西日本豪雨復興支援については、広島YMCAと密接に連絡を取りながら被害の実情を把握し、息の長い復興支援を実施します。その場合も西中国部の会員だけでなく、ワイズ関係者の支援と協力が不可欠です。西日本区に属する全てのワイズメン、メネットの方々の後方支援も期待しております。状況の好転は、我々がワイズスピリットを行動に移すか否かにかかっています。ワイズスピリットとは、イエス・キリストが言葉と行動で示された愛と奉仕の精神に他なりません。西中国部と被災地の再生と復興の為に支援よろしくお願い致します。

会長主題

## 出会う つなぎあわせる よくしてゆく

|     |       |
|-----|-------|
| 会長  | 宇高 史昭 |
| 副会長 | 三村 良行 |
|     | 澤田 哲平 |
| 書記  | 飯尾 豊  |
| 会計  | 田中 邦昭 |
| 外会長 | 宇高真知子 |

推薦月間

## Youth Activities

## 8月 例会案内

### 8日(水) 通常例会

グランドプリンスホテルのメインダイニング「いと桜」にて夏の特別料理を味わう例会といたします。納涼の意味も含めて涼しい服装でご出席ください。

なお、8月は第二例会は開催されません。

### 例会出席

|         |       |
|---------|-------|
| 7月第一例会  | 9名    |
| 7月第二例会  | 13名   |
| 在籍者数    | 16名   |
| メンバーシップ | 0名    |
| 出席率     | 94.1% |

### BFポイント

|    |     |
|----|-----|
| 切手 | 0pt |
| 現金 | 0円  |
| 果計 | 0円  |

### ファンド

|  |    |
|--|----|
|  | 0円 |
|--|----|

|    |    |
|----|----|
| 果計 | 0円 |
|----|----|

### ニコニコ

|        |        |
|--------|--------|
| 7月第一例会 | 0円     |
| 7月第二例会 | 5,000円 |
| 果計     | 5,000円 |

## 7月第一例会

## サバエワーク

2018/7/1  
斎藤 謙治

7月1日 第33代宇高会長期のスタートがサバエキャンプ場開設ワークで切られました。梅雨明けを思わせる快晴の下、午前9時オリエンテーションが始まり、「やる気」満々のワイズが揃いました。

プリンスクラブは例年通り野外炊事棟の整備と清掃 及びシャワー棟を含む周辺の草刈りで、午前中のワークを終えて、午後はツリーハウス周辺の草刈りに汗を流しました。

夏休みにサバエキャンプ場を利用する子供達が安全で楽しいキャンプが出来る様宇高会長以下7名のワイズは一生懸命頑張ってワークに取り組んでいますが、平均年齢が66歳とあっては、参加ワイズの声として「年々ワークが厳しくなるね」が本音現場仕事で脚立に昇る事を禁止されているワイズばかりで、小野ワイズのみが高所作業となる枯れた松の枝打ちを任せて申し訳なく思っております。ドライバー 廣井ワイズのご配慮で冷たいドリンクが用意され熱中症にも罹らず事故もなくワークを終える事が出来ましたが、昼食時には、酷暑のため食欲が無い方もおられました。

去年はYサ委員長を仰せつかりながら入院中の為、サバエキャンプ場開設ワークに参加出来ず皆様にご迷惑をお掛け致しましたが、今年は参加出来、健康であることを感謝致しております。



## 7月第二例会

## 定時総会

2018/7/18  
森 伸二郎



今回で28回目の定時総会。初めての定時総会の時、「今日は退屈な例会だなあ」と他人事の様に思いながらプリンスホテルへ。例会場に入ってみると、いつもの例会とは違った雰囲気、違ったテーブル配置。緊張気味の会長挨拶。初めての会長挨拶だから判らんことも無い。そして定時総会が始まりました。

最初は、書記による出席確認。「出席者数〇〇人。

会則第3章13条の定める处により、会員数の3分の2以上の定足数を満たしているので、この総会は成立します。」の報告。「何じゃこりゃ。このクラブは、其処までちゃんとするんか！」と僕は思い、例会場に入ってきた時の違和感を理解できました。

それから28年。今回は、会計という役目を負っての定時総会。いつもになく緊張気味にプリンスホテルへ向かいました。

【設立25周年記念例会が終わって、入会間もないメンバーのX君が言いました。「20人足らずのメンバーで、あれだけの例会ができるなんて、何ちゅうクラブなんや」と。それから数年後の京都部部会も滞りなく大好評で終えることが出来き、X君が「あの記念例会を成功させたクラブやからできると思っていた」とも言いました。】

でも今回の定時総会が終わって僕は、ニコニコで苦言を吐きました。プリンスクラブが守ってきたポリシーを例会の中に感じる事ができなかったからです。

【先日、区役員と一緒にした他クラブのベテランメンバーに「最近、あまり顔を見ないね。」と言ったら、彼が「新しいメンバーが増えて、居場所がないんや。ちょっと熱が醒めて」と言いました。】

今、メンバー増強は、ワイズメンズクラブにとって最大の課題であって急務なのですが、ワイズメンズクラブとして、何を守り、何を変えて、何を捨てるのかが、最も大切な事で、今まで守って来たポリシーを、理解し受け入れて新たな時代のプリンスクラブへと成長していくことを望むばかりです。







主人がプリンスクラブ入会以来、ともにメネットとしてクラブの皆様と楽しい時間を過ごさせていただいてきた。4人の子どもたちもクラブと共に大きくなりたくさんの思い出を頂いてきた。4番目の子どもが先天的な心臓病を患って生まれ、4人の子育てと看病の大変な時期もクラブのメンバーやメネットさんたちの温かいサポートのお蔭で乗り切ることができたと思う。プリンスクラブの家族ぐるみのワイズ活動に大いに助けられた年月だった。そうした年月ののちメネット主査を、とのお話を頂いた。微力ではあるがご恩返しをとの思いからお引き受けし、ワイズのイロハも解からぬまま1年のお役を務めさせていただいた。そんな時、同じく主査を務めた高倉ワイズから、新クラブをチャーターするから一緒に活動しないかとお誘いを受けた。新しいクラブのコンセプトをお聞きするうち新しいイメージの活動ができそうではと興味を惹かれ入会することとなった。

チャーターされたZEROクラブは、これまでプリンスクラブで経験してきたワイズのイメージとはおよそ異なるクラブであった。良きにつけ悪きにつけ戸惑いながらのスタートではあった。きちんと例会運営がなされ、はじめのはっきりしていたプリンスクラブとは異なり、よく言えばザックバラン、悪く言えばなれ合いの多いクラブ運営に戸惑った。しかしながら、メンバーがそれぞれに色々な立場で色々なクラブの例会を経験し、思いを忌憚なく話し合うことで、徐々に独自性のあるいいクラブになっていったと思う。

異質な二つのクラブを経験させていただき思うことは、時間がかかっても経験を重ねていくことでしか結束あるクラブは生まれないということと、思いをぶつけても協力を惜しまず動くことの大切さである。

自身はプリンスメネットとして、京都部メネット主査、西日本区メネット事業主任という大役を務めさせていただくことで多くのワイズメンとの交流の機会を頂き楽しいワイズライフをおくらせていただいている。目下はZEROのメンバーとして、楽しい発想でクラブを盛り上げていくメンバーと共に大いにワイズライフをエンジョイしているところである。

メネット33年目メン9年目、楽しく実りある一年になるように願っている。

## スイカファンドのお詫び

ファンド委員長  
森 伸二郎

今年は、7月を待たずして梅雨が明けてしまいました。じめじめと蒸し暑い梅雨は大嫌い。早々に梅雨が明けて喜んだのですが、今度は37度を超える猛暑の日々が続くうんざり。信州へ行けば多少は涼しいかと思っていたのですか、何の其の、安曇野平にも猛暑日が続いていました。

ちょっと言い訳をしておいて、スイカファンドを提供しているプリンスクラブのファンド委員長としてお詫び申し上げます。「誠に申し訳ありませんでした。」

あのシャキシャキした口当たりと甘さを期待して買っていたいた方々、そしてその噂に乗せられて今年初めて買っていたいた方々、期待外れのスイカをお届けしてしまいました。「ごめんなさい」。

スイカファンドを始めて十数年が経ちますが、今回の様な事は初めてです。そして、スイカも天候に左右される農産物なんだなあをつくづく思い、取り扱うことの難しさを思い知りました。これも地球温暖化のなせる業なのか？ この先も似たような夏が来ても、同じ失敗をしないで済むように学習いたしましたので、今後ともプリンスクラブ・スイカファンドのご支援をよろしくお願い致します。

陳謝





# 1. YMCAポジティブネット募金 西日本豪雨災害 受付

西日本を襲った記録的豪雨は12府県にまたがる大きな被害をもたらしました。生活の復旧には長期化が見込まれており、真夏日の高温が続き、非常に厳しい状況です。

YMCAでは、広島県、岡山県を中心に、全国のYMCAの協力のもと支援活動を進めています。被災地でのボランティアワーク等の支援に留まらず、中長期的な視野に立って人びとの困難に、息長く寄り添います。また、コミュニティの復興支援を目指し、全国のネットワークや特性を活かした活動を展開していきます。

以下の期間中、西日本豪雨災害への支援募金を受け付けております。皆様のあたたかいご支援・ご協力をお願いいたします。

受付期間： 2018年7月14日(土)～10月31日(水)

募金方法： 京都YMCAの各階窓口にお届けいただくか、以下にご送金ください。

《郵便振替》 01050-7-19132

加入者名： 京都YMCA 奉仕活動基金

※通信欄に「豪雨災害」とお書きください。

# 2. ICCPJ活躍中です。

今年も台湾・台中YMCAリーダー1名を京都YMCAで受け入れています。7月13日(金)～8月13日(月)の期間中、子ども達のプログラムを中心として京都YMCAの様々な活動にチャレンジします。

見かけたら、ぜひお声かけください。

、京都部を通して依頼させていただきましたとおり、各ワイズメンズクラブより実行委員を1名選出いただき、以下の2回の実行委員会へのご出席をお願いいたします。

# 3. 第1回京都YMCAチャリティーゴルフ「未来を担う子どもたちを支援しよう」

集められた支援金は、京都YMCAが行う公益活動のために使われます。京都YMCAに集う様々な会員の皆様が一室に会し交流を持つ機会にもなります。ぜひ、ご友人や知り合いの方も誘いいただきご参加ください。詳細は、後日ご案内します。

日 程： 2018年10月24日(水)

場 所： センチュリー・シガ・ゴルフクラブ

〒520-3302 滋賀県甲賀市甲南町池田上梅田2118

会 費： 15,000円(プレー費・昼食代・パーティー代・チャリティー代含む)

定 員：80名(4名×20組)※定員になり次第締切ります。

お申込み： 京都YMCAチャリティーゴルフ事務局

(メール：kyoto@ymcajapan.org/Fax：075-251-0790)

まで、郵送、メールまたはFAXにてお申し込みください。

締切：2018年9月15日(土)

お支払い： 代表者名で2018年10月1日(月)までにお振込みくださるようお願いいたします。

郵便振替 口座番号 01030-6-733

公益財団法人京都YMCA (フリガナ) ザイ)キョウトワイエムシーエー

## 7月度 役員会報告

### 報告事項

- ファミリーキャンプを9月15・16日にサバエキャンプ場で開催する
- 11月第一例会 ののさん支援CSアワー
- ぶどうファンド8月27日午後からピクセルにてキャッシュオンデリバリー

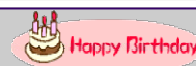
### 承認された事項

- 東広島クラブへの災害支援を一旦保留とする
- 8月第一例会参加費：メネット・ゲスト・メンバー候補は6,000円とする

## 8月 スケジュール

- 8日(日) 第一例会 納涼  
19:00 グランドプリンスホテル
- 9日(木)～12日(日) 国際大会  
韓国 麗水にて
- 18日(土)19日(日)  
青い空と白い雲のキャンプ  
サバエ教育キャンプ場
- 23日(木) 三役会
- 29日(水) 役員会  
19:30 京都YMCA

## 8月



該当者なし

### 編集後記

7月の例会2回とも出席できなかったことを、この紙面をお借りしてお詫びすると共に、ブリテンを作るに当たりご協力いただいたメンバーにお礼申し上げます。  
ブリテン委員長 西村博